

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 兵庫県加古川市
本事業の担当部局名 こども部こども政策課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		重点メニュー					
関連事業メニュー		1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援					
個別事業名		加古川市乳幼児ふれあい体験事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度 令和8年度
総事業費(A)(円)		164,996		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 164,996
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		164,996					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	164,996	0	0	0		164,996
	対象経費支出予定額	164,996	0	0	0		164,996
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市では、人口減少に歯止めをかけ将来にわたって活力あるまちを目指し指針となる「第2期総合戦略」で“結婚・出産・子育ての希望を叶えるまち”を基本目標の1つとし、その中で「安心して結婚・出産できる環境をつくる」をはじめ4つの具体的な施策を掲げ結婚を含めた総合的な少子化対策に取り組むこととしている。 <本個別事業の位置付け> 本事業は、加古川市内の高校に通学する生徒が、命の大切さや親子の愛情を学び、次代の親として子育てに対する理解と自覚を深めることを目的に、乳幼児やその保護者との交流の場を提供するものである。				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	生徒と乳幼児親子のふれあい体験の実施	加古川市内の高校と連携し、おおむね生後5ヵ月(首がすわってから)から1才半までの乳幼児親子が学校に訪問し、高校生とふれあう体験を行う。 主な体験内容としては、赤ちゃんとのふれあいの他、母子健康手帳やエコー写真などをみながら、保護者から妊娠中やこどもの様子、子育ての楽しさ、大変さを聞く。 体験は柔道場や特別教室などで行い、1グループ約5～6名の生徒に1組の親子、委託先企業の保育士スタッフが入り、双方に充実した体験ができるようなサポートをする。 実施にあたっては市内の高校1校を選定し、1年生約260名を対象に3日に分けて実施する。				
	2						
	3						
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>						

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.6 (R8年度)	1.3 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.3 (R5年度)	
	婚姻件数		件	948 (R5年度)	
	婚姻率			3.72 (R5年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	ふれあい体験参加生徒数	人	280 (令和10年度)	-
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	90 (令和10年度)	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④	体験後、子育てのイメージを持つことができた生徒の割合	%	70 (令和10年度)	-
	⑤	体験後、乳幼児にとっても親しみを感じた生徒の割合	%	70 (令和10年度)	-
	⑥				
	⑦				
	⑧				